ホームページ掲載内容

これまでに治療を受けた患者さんへ
【診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院産科・婦人科では「卵巣子宮内膜症性嚢胞の悪性転化についての後方視的検討」という研究を行っております。我が国での研究によると、卵巣子宮内膜症性嚢胞より卵巣癌が発生する頻度は 0.7%程度と推定されています。この研究は、卵巣子宮内膜症性嚢胞の悪性化の危険因子を調べ、悪性化の早期発見の観点を考慮した、卵巣子宮内膜症嚢胞の管理方法を確立することを主な目的としています。そのため、過去に卵巣子宮内膜症性嚢胞の経過観察中に発生した卵巣癌の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

○この研究の対象となる患者さんは、卵巣子宮内膜症性嚢胞の経過観察中に悪性化をきたし、順天堂大学医学部附属順天堂医院産科婦人科で西暦 2003 年 1 月 1 日～西暦 2021 年 6 月 30 日までの間に手術受けた方です。
・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。
診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理組織検査）
期間：西暦 2003 年 1 月 1 日～西暦 2022 年4月 30日
○この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。
・研究実施期間　研究実施許可日　～　西暦 2023 年 03 月 31 日まで
・研究責任者　　岡田　由貴子
○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。
○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。
○この研究は、産科・婦人科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第８の１（2）イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせ

ず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。
　この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】
順天堂大学医学部附属順天堂医院　産科・婦人科
電話：03-3813-3111　（内線）3365/3366
研究担当者：岡田　由貴子